

視線で会話をもっと楽しく
身体障がい者向けコミュニケーションツール

EyeCOL (アイコル)

～ Eye Changes Our Life ～

プロジェクトの背景

プランを思いついた背景には、意思疎通や生活に不自由を強いられているALS患者さんからの自分発信で意思疎通したいとのニーズがあります。既存の製品にはアイトラッキングを利用したコミュニケーションツールがありますが、これは自分の意志を相手に伝える機能のみです。そこで、私たちは患者さんの意志を「行動」に移せる新しいシステムを作り上げようと考えました。目線の文字入力に加え、目線の先にあるものを示したり、ロボットアームで取れるような仕組みを加えようと考えています。

商品・サービス

視線で入力した文字をAIで本人の声に近い音声で読み上げるソフトです。また、画面外に視線を移動させたとき、視線をレーザーポインターで示してコミュニケーションを手助けする機能もあります。

ポイント

- ・フリック入力や50音入力など様々な種類の入力方法を選べる。
- ・オプションで視線による操作で体の痒いところをかいたり、スプーンを付けて自力で食事を取ったりできるようなアームなどを追加可能。
- ・安価なリース価格で使える。

事業展開

調査

ALSの患者さんなどの身体に障がいを持っている方やその家族、施設のスタッフの方、SNSなどから日常生活の中で改善してほしいことを調査する。



開発・改良

アイトラッキングを使い、視線でキーボード入力ができるアプリを開発。キーボードで自ら文字を入力しコミュニケーションをとる。画面外ではレーザーポインターを使用することで言葉を代用することが出来る。

販売

販売は、オンライン上での注文のやり取りで行います。装置の取り付け等は全国各地の契約を交わした家電取り付け会社に委託します。また、2か月の体験ができるようにし、便利さを知ってもらったり、カスタマイズが合うのかを確かめてもらったりします。

